

平成28年(2016年)おもなできごと

下伊那地方事務所

下伊那地方事務所の平成28年(2016年)「おもなできごと」を紹介します。

月	内 容 等	
2月	<p>高森町の防災無線施設が完成 (農地整備課)</p> <p>平成25年から高森町全域で整備を進めていた防災無線のデジタル化移行工事が、2月22日に完了しました。 これにより、気象などの営農情報や地震、豪雨などの災害時の防災情報を迅速かつ確実に住民に伝えるシステムが確立されました。</p>	
3月	<p>J R 飯田線の魅力発信！パンフレット「南信州 各駅停車の旅」を発行 (地域政策課)</p> <p>長野県魅力発信ブログ下伊那地域版「南信州お散歩日和」で、一年半に渡り掲載し、好評を得た「飯田線シリーズ」。内容をまとめ、1冊のパンフレットにして発行しました(1200部)。 管内外を問わず多くの方に配布させていただき、美しい車窓や秘境駅など、改めて飯田線の魅力を広く発信しました。</p>	
3月	<p>7年に一度の心意気！「飯田お練り祭り」が盛大に開催される (商工観光課)</p> <p>七年に一度の南信州最大のお祭り「飯田お練り祭り」が、3月25日～27日の3日間に渡り開催されました。 大名行列や東野大獅子をはじめ、“過去最多”の47参加団体がバラエティ豊かな演舞を次々と披露して、“過去最多”となる35万人の観客を魅了しました。</p>	
5月	<p>「しあわせ信州移動知事室」を開催～「共感」と「対話」の県政の推進～ (地域政策課)</p> <p>知事が地域に腰を落ち着けて住民の方々との対話や施設訪問等を行う「しあわせ信州移動知事室(飯田・下伊那地域)」を、5月16日～18日の3日間に渡り実施しました。 「南信州民俗芸能パートナー企業制度」初となる協定締結・登録証交付式や6次産業化施設訪問で地域の魅力に触れるとともに、「管内市町村長との意見交換会」や「リニア中央新幹線を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」では地域課題の解決に向け熱心な議論が行われました。</p>	
5月	<p>飯田下伊那地区植樹祭を開催～未来へつなぐ森林づくり～ (林務課)</p> <p>第67回全国植樹祭の長野県開催に合わせ、5月22日に松川町「およりの森」にて飯田下伊那地区植樹祭を開催しました。 森林が健全な姿で未来へ引き継がれていくことを願い、約600人の参加者による46種類約2,000本の苗木の植樹が行われました。</p>	
6月	<p>管内の県税収入が、過去7年間で最高となる“約68億円”を計上 (税務課)</p> <p>6月16日に発表した、平成27年度の管内の県税収入は、過去7年間で最高額の67億869万円となり、前年度より4.8%、金額で3億8百万円余増加しました。企業業績の伸びにより、法人二税が前年度より13.8%増加したことが大きな要因となりました。 また、収入歩合が98.7%で5年連続の上昇となったほか、収入未済額が8,378万円で平成に入って最少となりました。</p>	

月	内 容 等
7月	<p>選挙権年齢の引下げ！初の18歳選挙「参議院議員通常選挙」が執行される (地域政策課)</p> <p>任期満了に伴う「参議院議員通常選挙」が7月10日に執行されました。本選挙は、選挙権年齢の18歳以上への引下げ後の初選挙であったため、大きな関心を集めました。また、共通投票所制度も創設され、多くの市町村で設置が見送られる中、高森町が全国に先駆けて共通投票所を設置しました。(投票率 飯田市63.85% 下伊那郡71.52%)</p> 
	<p>「市田柿」の一層のブランド化へ！「地理的表示 (GI) 保護制度」に登録される (農政課)</p> <p>高い品質・評価を得ている地域の産品の名称を知的財産として保護する「地理的表示 (GI) 保護制度」において、JAみなみ信州が農林水産大臣に申請していた「市田柿」が、7月12日に登録産品となりました。市田柿ブランド推進協議会を中心とした産地一体の取組により、今後、「市田柿」の一層のブランド化が期待されます。</p> 
	<p>「信州デスティネーションキャンペーン (DC)」のプレキャンペーンが行われる (商工観光課)</p> <p>平成29年7月～9月に長野県とJR6社などが協力し実施する、大型観光キャンペーン「信州デスティネーションキャンペーン (DC)」のプレキャンペーンが行われました。全国の旅行会社等に対し、阿智村の日本一の星空や高森町の「おんな城主直虎」ゆかりの地をPRをするなど、中信州の観光関係者が一体となり地域の魅力を発信しました。</p> 
10月	<p>三遠南信地域の連携強化へ！第28回三県域所長情報交換会を高森町で開催 (地域政策課)</p> <p>10月27日、三遠南信地域連携の取組を推進するため、静岡県、愛知県、長野県の県境を接する三県の総合行政機関が、県境を越えて取り組むべき施策について意見交換を行いました。平成29年の大河ドラマ「おんな城主直虎」を契機とした三県の連携を確認し、三遠南信しんきんサミットに合わせ三県共同ブースを出展してPRを行うなど、具体的な取組がスタートしました。</p> 
	<p>「産業振興の新たな拠点」起工式が執り行われる (商工観光課)</p> <p>10月30日、旧飯田工業高校 (飯田市座光寺) の施設を活用し、「産業振興の新たな拠点」として整備する事業の起工式が執り行われました。長野県では南信州広域連合に施設を無償譲渡・貸与するとともに、アジアの航空機システム拠点を目指して航空機産業の振興を図ります。</p> 
11月	<p>2027年開通へ！リニア中央新幹線南アルプストンネル起工式が執り行われる (各課)</p> <p>県内における初のリニア中央新幹線の建設工事となる南アルプストンネル長野工区の安全祈願・起工式が、11月1日に大鹿村で執り行われました。各課が連携し、事業の推進等に必要な許認可事務を的確に進めるとともに、リニア中央新幹線を活かした地域振興に取り組めます。</p> 
	<p>地域の宝を未来へつなぐ！ ～民俗芸能継承の取組～ (地域政策課)</p> <p>南信州地域の宝である「民俗芸能」を将来にわたって継承するための取組を行っています。「南信州民俗芸能継承フォーラム」(2月21日開催)・「民俗芸能子ども体験会」(3月20日開催)では、地域の皆様に民俗芸能継承の意義を考えていただくとともに、将来の担い手確保につながる有意義な機会となりました。5月には、民俗芸能団体の取組に協力・支援いただける企業等の皆様を長野県が登録する「南信州民俗芸能パートナー企業制度」を創設し、同月16日に本制度初となる7社の協定締結・登録証交付式を行いました。なお、11月末現在でのパートナー企業は9社となっています。今後も、地域一丸となり民俗芸能継承の取組を推進していきます。</p> 

オール信州で取り組む
地消○地産

「地域の消費」と「地域の生産」を結んで
地域内経済循環の輪を広げます。

下伊那地方事務所地域政策課総務係

(課長) 今井 達哉 (係長) 棚田 益弘 (担当) 金田 大輔

電 話 0265-53-0400 (直通)

F A X 0265-53-0404

E-mail shimochi-seisaku@pref.nagano.lg.jp